

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	ポニーの家		
○保護者評価実施期間	令和7年 10月 1日		～ 令和7年 10月 25日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	2 (回答者数)	1
○従業者評価実施期間	令和7年 10月 1日		～ 令和7年 10月 25日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6 (回答者数)	6
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年 10月 27日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	食育の一貫でクッキングを行っています。月に二回の土曜日・長期休み(春休み毎日・夏休み毎日・冬休み毎日)に子どもたちが食材に触れスタッフと調理し・自分たちが触れた食材を食べる偏食をなくそうと言う取り組みを行っています。(手作りおやつ提供も含む)	子どもたちと一緒にすることで、自分が作ったから食べてみようや・～さんが作ってくれたから食べてみようという意識が生まれます。また自宅に帰ってから保護者に「一緒に作ろう」や自分で作ってみたいと言う意識が生まれます。	食材の買い出しに人数を決め、子どもたちと一緒に買い出しへ行き四季の食材を知る機会・提供する料理の元はどのような食材かを手で触り目で見て一緒に購入したり、このメニューにはこの材料が居るなどの知識もみにつきます。自分で選んだ食材には思い入れがあるので次は野菜を作るからはじめ鯛と考えています。
2	地域の校区の子どもたちの居場所にも・・・事業所の子どもたちが一緒になって遊ぶことが出来る・地域の子どもたちが遊びに来てくれることにより、事業所の子どもたちには良い刺激を与えてもらっています。また同じ学校に通うお友達も遊びに来てくれ、児童の事を理解出来る場所だと考えています。	事業所の子どもたちが、地域の公園等で活動している際に、地域の子どもたちが活動していたら、一緒に活動し時間を共有し交流を図っています。何かあれば地域のお友達が助けてくれる・地域のお友達の助けにもなれるよう子どもたちの交流の場にもしています。	地域の子どもたちが、気軽に立ち寄れる場所として、事業所の休みを利用して月1回事業所の代表2名と職員1名が有志で場所のみを使用して子ども食堂の運営もはじめま1年が経過、地域の方々にも認知度がたかまり多くの方が利用していただき、児童と地域の方々との交流の場にもなっています。
3			また子育てに対してのアドバイスや障がいについての相談もあります。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	昨年に引き続き、若い女性のスタッフの人材確保が未だ難しい状態です。	昨年は家族間経営での難しさがあるかと思っていましたが他の事業所も同じ回答があり、福祉の事業に対する意識や興味にあまり感心を持てる若い人材の不足に直面していると感じます。	給与や賞与の見直し・働きやすい環境の整備なども見直しが必要と福利厚生・年一度の社員旅行を盛り入れ検討しています。
2			
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 ポニーの家

公表日 令和7年 11月 1日  
令和7年 10月 27日

2 利用児童数 日

回収数 1

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	1					
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	1					
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	1					
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	1					
適切 な 支 援 の 提 供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	1					
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	1					
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	1					
	8 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	1					
	9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	1					
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	1					
	11 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	1					
保 護 者 へ の 説 明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	1					
	13 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	1					
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	1					
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	1					
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	1					
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	1					
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	1					
19 こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	1						

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	1				
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	1				
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	1				
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	1				
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	1				
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	1				
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	1				
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	1				
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	1				
	29	事業所の支援に満足していますか。	1				

公表

## 事業所における自己評価結果

事業所名	ポニーの家		公表日		令和7年 11月 1日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	4	2	トイレやシャワー室などは個室になっています。玄関に入って一目で見渡せる空間で子どもたちの様子を見ることが出来ます。	シャワー室が老朽化しているので新しいシャワー室の設置を検討しています。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	4	2	正規職員6名運転手専属2名での計8名で行っています。	若い女性スタッフの募集を行っていますが、応募・採用までには至っていません。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	4	2	玄関上がりかまちが10cmありますが、ほぼバリアフリーの状態で使用していただけます。子どもたちの様子も一目で見渡せ、どんな活動を行っているか把握できます。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6		就業時に掃除・アルコール消毒を行います。遊具は子どもたちが取り出しやすい位置に、だし入れが出来るように工夫しています。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6		相談室をこどもの個室に使用しています。子どもたちが他児と離れて落ち着いて過ごせるよう必要に応じて使用しています。	個室で相談支援を行っている際には使用できないので、子供達には不便を欠けてしまいますがマットや毛布などを使って一人空間を作っています。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	6		朝礼で前日の振り返りと今日の流れの確認を行います。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6		ミーティングなどで話し合い、改善できるところはおこなっています。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6		スタッフからの意見には傾聴を行い改善を行図っています。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		6		第三者委員会は設立していないので行っていません。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6		放課後等連絡会など合同で研修の企画を行い、スタッフも参加、事業所にも出前研修などをして頂いて研修の機会を設けています。市や他事業所からの研修のお誘いにも参加し出来る範囲で参加をしています。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6		昨年より実地・家族のみInstagramでの掲載を行っています。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	6		まだまだ課題はたくさんありますが行っていると感じています。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6		できるだけ、スタッフと一緒にしていますが事業に優先の際には限られたスタッフと一緒にしています。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6		まだまだ課題はたくさんありますが行っていると感じています。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。		6		以前使用していた用紙になった得が行かないところがあり再度検討中にあります。現在は今までの用紙を使用中
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6		五領域を踏まえて計画を行っています。児童からの話をよく傾聴しおこなっています。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6		四季の応じての活動を中心に、工作や遊びを行います。また外活動なども行い、海や川・プール活動など沢山の人とふれあえる活動を企画しています。季節行事は外部から引き催しの企画や、他事業所と合同での催しを行っています。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6		幼稚園からの宿題や課題は固定化していますが日々の活動の固定化はしないようにしています。子供たちが何をしたいかなど一緒に考えて活動することが出来るように取り入れています。長期休みなどの利用の際には時間を決めて事業所からの課題を行います。	帰宅時間にばらつきがあるので、全体的な活動は難しいことがあります。全体と同じ活動が個々でも全員ができるように工夫を行ったり、各自にあった内容で活動を行うようにしています。

	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	6	個別活動・集団活動には積極的に参加してもらいますが必ずしもその通りに行えることはないですが、本児の体調や機嫌などの様子を見ながら行っています。		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6	朝礼で一日の確認を行います。		
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6	その日の振り返りを行い、申し送りを必ず行います。翌日の朝礼で再度申し送りからの確認を行います。		
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6	支援の記録は業務日誌・複写の連絡帳に毎日記録・変化のあった際には個別のファイルに記入しています。		
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6	保護者や関係機関と連携を行い、見直しを行います。		
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6	時間の都合上、各関係機関との時間の調整がむづかしく午後からの会議になる事が多いので、支援に使用のないときは参加してもらっています。		
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6		福祉・教育・訪問看護・との連携はスムーズですが、医療機関（病院）まだまだ壁があり出来ていません。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	6	必要に応じておこなっています。		
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	6	11月以降に最終の決定が保護者からされるので、現在はまだ出来ていません。		
	28	(28～30は、センターのみ回答)				
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答)				
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	6			相談等は行いますが研修までは出来ていません。
32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	6			原愛土曜のみの利用の児童なので行えていません。平日の利用があった際は場合行っていました。	
33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6		常に保護者との連携を行い、日常の様子や気になった点があれば相談・情報の共有を行っています。		
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	6			研修には至っていませんが研修の譲歩王の提供等は行っています。	
35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6		契約時に行っています。		
36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点から、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6		保護者・児童の思いの傾聴は行っています。		
37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	6				
38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6		保護者とのコミュニケーションは行っています。お家での様子や事業所で変わった様子を見たい際には保護者と相談しながら助言や支援を行っています。		

保護者への説明等	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	6		年に2回保護者交流会を行います。春はお茶会で交流・秋はBBQを行い家族で参加していただき、支援学校や地域の学校に通う保護者同士が情報交換を行ったりしています。	
	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6		申し入れがあった場合などは職員と相談を行い、各関係基幹との情報共有の元対応しています。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	6		出来る限り、毎日家族限定のインスタグラムには毎日の子供の様子を掲載しています。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6			
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6		できるだけ、文字でお伝えようにしています。メールやお手紙で内容が理解できるように工夫を行っています。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		6		事業所のイベントに声掛けをおこなったりはしますが中々参加がありませんが地域交流の場にはできるだけ参加するようにしています。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5	1	事業者内で児童との想定訓練・消防施設での消防訓練など年に二回以上はおこなっています。	職員には周知していますが、全体の保護者までにはまだ至っていませんので、引き続き周知を行ってまいります。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6		年間計画に沿って、行っていますが行事・長期休暇などに重なっている際に、多少前後してでも行っています。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	6		服薬・持病などの情報は確認しています。が予防接種までは行っていませんので今後聞き取り調査に入れ周知します。	
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6		アレルギーのお子さんには、除去食対応を行っています。児童のアレルギーの度合いに異なります。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6		年間計画に沿って、行っていますが行事・長期休暇などに重なっている際に、多少前後しますが行っています。	
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6			
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6		想定し起こった際は、職員での役割分担が行えるよう検討しています。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6		年間計画を立て事業所内での研修・放課後連絡会からの研修・市からの研修に参加しています。	
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。		6		現時点で身体拘束を必要とする児童がいないため、行っていませんが、身体拘束を必要とする児童が契約された際には十分な説明と理解を得たいと思います。	